

科目名		聴覚系の構造・機能・病態			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年	後期	必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

聴覚系の抹消から中枢にいたる構造や神経機能、病態などを学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕

基礎的学習として神経生理学を終えてから聴覚系の構造・機能とその病態と障害を学ぶ。

〔講師の実務経験〕

臨床経験15年。教育経験19年。

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

本科目は言語聴覚の根幹を成すものであり、したがって学習者に相応の努力を（毎回の予習と復習）が求められる。そのため授業への集中度をチェックする方策を導入する。

回数	講義内容
1	神経系の構造
2	シナプス伝達
3	少数のニューロン回 反射
4	運動系の統合機構
5	外耳と中耳
6	蝸牛 ①
7	蝸牛 ②
8	聴神経 ①
9	聴神経 ②
10	蝸牛の変換機構と興奮機構 ①
11	蝸牛の変換機構と興奮機構 ②
12	脳幹神経核
13	聴覚皮質
14	遠心路
15	感音性難聴

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験にて評価する。